



## 引き続き、鳥インフルエンザに注意を！

欧州の野鳥では夏季でも鳥インフルエンザウイルスが検出されています。北米やアジアでは家きんの鳥インフルエンザ発生が続きました。また、国内では家きんにおいて過去最大の発生となり、多数の野鳥からもウイルスが検出されました。カラス等の留鳥の群内で流行すると長期にわたり環境中にウイルスが存在することも予想される、と専門家のコメントがあります。昨年は4月、5月に発生があったことから、引き続き注意が必要です。

### 海外の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

国名	種類	事例数	型	期間
韓国	家きん	72	H5N1	2022年10月～2023年4月2日
台湾	家きん	38	H5N1, H5N2	2022年7月～2023年1月11日
欧州	家きん	1029	ほぼH5N1	2022年7月～2023年3月13日
	野鳥	1472	H5N1	
米国	家きん	765	不明	2022年7月～2023年2月21日
カナダ	家きん	299	不明	2022年7月～

### 国内の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

種類	事例数	期間
家きん	26道県 84事例	令和4年10月～令和5年4月10日
野鳥	27道県 236事例	令和4年9月～

NEW

## 令和5年度 松本家畜保健衛生所の新たな体制がスタート！

所長 山本 修

飼養衛生管理基準の遵守を通じ、家畜伝染病防疫対策の維持・強化をお願いします。

保健衛生課	防疫課	病性鑑定課
課長 神戸三希	課長 袴田由美	課長 大泉卓也
慢性疾病対策等を通じて、生産性向上を支援します。	各種検査や病性鑑定などを通じて、家畜伝染病の発生予防と、衛生管理の向上を支援します。	病性鑑定の精密検査を通じて、疾病の診断、対応等、最新知識を用いて疾病対策を支援します。

伝染病等の異常通報は松本家畜保健衛生所 TEL:0263-47-3223 へ